

【質か量か！そして、新会員の探し方！】 10 ケ条

本日は、「**会員増強及び拡大月間に因んで**」の月間に関連して会員増強委員会、神吉ゆかり委員長の卓話であり、「**月間に因んで**」の第 2 弾として、質か量及び新入会員の探し方についてお話をさせていただきます。

1953 年に「ロータリーの友」の創刊号が出されました。創刊号によりますと、日本の全会員が 3000 名しか入会していないときですらロータリアンは「質か量」かの議論がされています。

現在、日本での会員数は 10 万人弱です。最も多い会員であったころでも 12 万人くらいでした。種々の理由で会員が退会し、新しい会員が入会してきます。毎年のように、いろいろなクラブ、地区、国際ロータリーで、この「質か量」かが議論されてきました。今でも、結論は出ません。人間ですから善い人もそうでない人もいます。会社で凄い人でもロータリーでは活動しない方がいます。突然、ある日ロータリーで活動される方も出てきます。

ある民族や国家で善い習慣が、必ずしも他の民族、国家で善いこととは限りません。それを質か量で論じては必ずしも的を得ていないと思います。ましてや、教育、習慣が違い民族、国家によって、ものの価値観が違います。立派な人がロータリアンになるのではなく、ロータリーの奉仕を通じて立派なロータリアンになっていくのだと思います。そして、理想的なロータリアンになります。ロータリーを理解し「人のために世のために」という種々の規模の奉仕が地域、地方、そして世界に広がっていきました。ですから、質が初めから決まっているのではなく、ロータリーによって育まれていくのだと思われま。質のよいロータリアンとして育み指導するのが会長であり会員でありクラブだと考えています。極端に言えば量も質も進化している時期に入っています。

では、理想的なロータリアンの発掘はどうしたら良いか！

【新会員の探し方！】 10 ケ条

- (1) 職業人のつながりや友人・知人関係を再検討して、有資格者を模索する。
- (2) ハイクラスばかりでなく、中堅層で、ロータリーに理解と活動意欲のある人。
- (3) 有資格者には、熱意を持って説明と勧誘。但し2度、3度で諦めない。
- (4) ロータリーの活動を語る。活動の楽しさを強調する。
- (5) 職業奉仕の大切さ、世のための活動のキッカケがロータリーにある。
- (6) 入会にして、自分が成長することに気づき、語り合える友と出会う。
- (7) クラブには、大勢の素晴らしい会員がいることを伝える。
- (8) 例会・ロータリーの友などを通じて奉仕を理解できる。
- (9) 日本中・世界中で一気に120万の仲間ができる。他クラブへの出席も可能です。
- (10) 入会后、違和感を感じたら速やかに会長・幹事、理事らに願います。
そして、適切であれば会合に配偶者を招待する。

また、「ロータリー入門書」では、会員増強はクラブの持つ魅力の結果であり、まず、クラブを魅力的にする必要があります。ビル・ボイド元RI会長は「いかにして新会員を引き付けるかについて話すことに時間を費やすのは賢明ではありません。その時間があれば、クラブの充実に費やした方が効果的と言えます。何故なら、ロータリーが適切に機能していれば、現会員を維持し、新会員を惹きつけるに十分な魅力を備えているからです。」と説かれています。

立派な人がロータリアンになるのではなく、ロータリーの奉仕を通じて立派なロータリアンになっていくのだと私も信じております。

これからも、宇部ロータリークラブに相応しい人材発掘、ご紹介を会員の皆様に切にお願い申し上げ、楽しくも、素晴らしいクラブになります様祈念し会長の時間といたします。

…それでは、本日もロータリーライフをお楽しみ下さい。…